

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画

教 科：（ 家庭 ） 、科目（家庭総合） 単位数：（ 2 ） 単位

対象学年組：第 2 学年 1組～3組 5組

使用教科書：家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍）

使用教材：2020 生活学Navi 資料＋成分表（実教出版）

	指導内容	科目（家庭総合）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第6章 食生活をつくる 1 食生活の課題について考える	○日常の食生活を振り返り、食生活の変化や課題について理解させる。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 知識・理解 ワークシート	4
5月	2 食事と栄養・食品	○日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解させる。 ○日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り、自分や家族に当てはめることができるようにする。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 知識・理解 ワークシート	6
	3 食生活の安全と衛生	○食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を理解させる。		2
6月	4 被服を作る 5 衣生活の文化と知恵 6 これからの衣生活	○平面構成と立体構成の違いを理解させる。 ○正しい採寸方法を知り、自分のサイズを理解させる。 ○被服製作の基本的事項を確認し、自分に合った被服の製作ができるようにする。 ○布を使った伝統的な生活の工夫を知り、現代に生かせるようにする。 ○生涯を通じて健康で安全な衣生活が営めるようにする。	意欲・関心・態度・ 提出物・作品・定期考査	8
7月	3 被服を管理する	○汚れ落ちの仕組みを理解させ、被服に適した洗濯や保管方法を理解させる。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	6
8月				
9月	第7章 衣生活をつくる 1 被服の役割を考える 2 被服を入手する	○被服のさまざまな役割を整理させる。 ○被服材料の特徴を理解させ、組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味を知らせる。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	8
10月	第8章 住生活をつくる 1 住生活について考える	○住居の機能を考えさせる。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現・技能 知識・理解 ワークシート・定期考査	8
	2 住生活の計画と選択	○平面図の基礎知識を習得し、間取りや動線について理解させる。 ○ライフステージに合った住居を考えさせる。 ○室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を理解させる。		
11月	2 食事と栄養・食品	○日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解させる。 ○日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り、自分や家族に当てはめることができるようにする。	関心・意欲・態度 技能 知識・理解 ワークシート	8
	3 食生活の安全と衛生	○食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を理解させる。		
12月	6 食生活の文化と知恵	○日本や地域の食文化を見直し、食文化を継承について考えさせる。	関心・意欲・態度 知識・理解 ワークシート・定期考査	6
1月	3 住生活の文化と知恵	○気候風土に応じた住居や住まい方の工夫、住様式があることを理解させる。	関心・意欲・態度 思考・判断・表現 知識・理解 ワークシート・定期考査	4
	4 これからの住生活	○住環境における地域社会とのつながりの重要性を理解し、持続可能な住生活とは何か考えさせる。		
2月	第5章 経済生活を営む 1 職業生活を設計する 2 計画的に使う 3 国民経済・国際経済と家庭の経済生活	○高校卒業後について、経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解させる。 ○生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージごとのポイントを理解させる。 ○国際化・複雑化している経済社会と家計との関係を理解させる。	意欲・関心・態度 提出物・定期考査	6
3月	6 これからの消費生活と環境	○大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え、持続可能な生活ができるようにする。 ○消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解し、消費者市民社会の意義を踏まえて行動できるようにする。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	4

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科：(家庭) 科目：(家庭基礎) 単位数：(2) 単位

対象学年組：第 2 学年 4 組

使用教科書：家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)

使用教材：2021 生活学Navi 資料+成分表 (実教出版)

	指導内容	科目(家庭基礎)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	第5章 食生活をつくる ①食生活の課題について考える ②食事と栄養・食品 ③食生活の安全と衛生	○日常の食生活を振り返り、食生活の変化や課題について理解させる。 ○日常的な食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解させる。 ○日本人の食事摂取基準や食品群別摂取量の目安を知り、自分や家族に当てはめる。 ○食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を学ばせる。	意欲・関心・態度 提出物	4
5 月	④生涯の健康を見通した食事計画 ⑤調理の基礎 ⑥これからの食生活	○青年期の食事の重要性を理解し、各ライフステージの栄養的特徴を理解させる。 ○基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようにさせる。 ○食生活の変化や問題点を知り、環境や食料自給率の問題を考えさせる。 ○生涯を通じて健康で安全な食生活が営めるようにする。 ○日本の伝統的な食文化を知らせる。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	8
6 月	第6章 衣生活をつくる ①被服の役割を考える ②被服を入手する ③被服を管理する	○被服のさまざまな役割を整理させる。 ○被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味が分かるようにする。 ○汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した洗濯や保管方法を知らせる。 ○被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味が分かるようにする。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	8
7 月	④これからの衣生活	○生涯を通じて健康で安全な衣生活が営めるようにする。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	6
8 月				
9 月	第1章自分らしい人生をつくる ①生涯発達の視点 ②青年期の課題 ③目標を持って生きる	○各ライフステージの特徴と課題を理解させる。 ○生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つけ、生活課題に対応した意思決定の大切さを理解させる。	意欲・関心・態度・ プリント・定期考査	8
10 月	④人生をつくる ⑤家族・家庭を見つめる ⑥これからの家庭生活と社会	○男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性を理解させ、家庭生活の在り方について考えさせる。 ○家族・家庭に関する基礎的な法律を知り、現在の動きを把握できるようにする。 ○家事労働・職業労働について知り、ワーク・ライフ・バランスについて考えさせる。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	8
11 月	第2章 子どもと共に育つ ①子どもの育つ力を知る ②親として共に育つ ③子どもとの触れ合いから学ぶ ④これからの保育環境	○子どもの育つ力と発達段階を知らせる。 ○人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わりの大切さを学ばせる。 ○遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について学ばせる。 ○子どもとの触れ合いを通して、愛着の形成と親としての成長を理解させる。 ○子どもを取りまく社会変化の現状について理解し、考えさせる。 ○児童福祉の理念を理解し、子育て支援の現状を学ばせる。	意欲・関心・態度・ 提出物 定期考査	8
12 月	第3章 高齢社会を生きる ①高齢期を理解する ②高齢者の心身の特徴 ③これからの高齢社会	○高齢社会の現状と課題を理解させる。 ○高齢期の心身の変化や特徴、個人差が大きいことを理解させる。 ○身近な高齢者との触れ合いの機会を探す。 ○高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考えさせる。	意欲・関心・態度 提出物 プリント・定期考査	6
1 月	第8章 経済生活を営む ①職業生活を設計する ②計画的に使う ③国民経済・国際経済と家庭の経済生活 ④現代の消費社会 ⑤消費者の権利と責任 ⑥これからの消費生活と環境	○高校卒業後について、経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。 ○生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージごとのポイントを知る。 ○キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え、契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようにする。 ○消費者基本法を通して、消費者には権利と責任があることを理解させる。 ○消費行動における自分の意思決定の重要性とそのプロセスを理解させる。 ○大量消費から環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を考え、持続可能な生	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	4
2 月	第7章 住生活をつくる ①住生活について考える ②住生活の計画と選択 ③これからの住生活 第4章 共に生き、共に支える ①私たちの生活と福祉 ②社会保障の考え方 ③共に生きる	○住居の機能や間取りについて理解させる。 ○室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を理解させる。 ○バリアフリーの考え方を理解させる。 ○住環境における地域社会とのつながりの重要性を理解し、持続可能な住生活とは何か考えさせる。 ○一生を通じた福祉や社会的支援の必要性を理解させる。 ○社会保障制度の理念と内容を理解させる。 ○多様な人々のニーズ、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインの理念を理解させる。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	6
3 月	第9章 生活を設計する ○生涯を見通す	○これまでの学習を踏まえ、キャリアの視点から生涯の生活設計に必要な要素をまとめさせる。 ○これまでの学習を踏まえて、自分の目指すライフスタイルを考え、高校卒業後の生活設計を立てさせる。	意欲・関心・態度 提出物 定期考査	4